

Ryuichi Sakamoto | async

坂本龍一 | 設置音楽展

2017年4月4日 | 火 | - 5月28日 | 日 |

| 関連イベント |

トーク + 上映会 + 試聴

タイトル: 『async』

フィールド・レコーディング (京都録音紀行)

日時: 5月6日 | 土 | 2017年 19:30~21:00 予定

会場: ワタリウム美術館 4F

ゲスト: オノセイゲン | サイデラ・パラディソ C.E.O. エンジニア / ミュージシャン

國崎晋 | サウンド&レコーディングマガジン編集人 / 株式会社リットーミュージック取締役

新作アルバム『async』を最高の音響空間で体験できる

「Ryuichi Sakamoto | async (設置音楽展)」。

その関連イベントとして、2016年夏に京都で行われた

フィールドレコーディングの様態を映像を交えて、

録音に参加したエンジニアのオノセイゲンと

サウンド&レコーディングマガジンの國崎晋による

トークショーを行います。

当日は『async』から "Life, Lfe" と "honji" (2ch) を

ムジークエレクトロニクガイザイン製スピーカーを用いた

試聴を予定しています。

國崎 晋

1963年生まれ。サウンド・クリエイターのための専門誌『サウンド&レコーディング・マガジン』編集長を20年間務め、現在は同誌編集人。ミュージシャンやプロデューサー、エンジニアへの取材を通じての制作現場レポートや、レコーディング機材使いこなしのノウハウなど、プロ/アマ問わず多くのクリエイターに役立つ記事を多数手掛けている。2010年からはPremium Studio Live と題したライブ・レコーディング・イベントを開始。収録した音源をハイレゾ・フォーマットで配信するレーベル活動も展開。

オノ セイゲン

録音エンジニアとして、『async』の京都部分に参加。『戦場のメリークリスマス』『音楽図鑑』にはじまり、坂本龍一、加藤和彦、清水靖晃、三宅純、渡辺貞夫、ラウンジ・リザーズ、ジョン・ゾーン、アート・リンゼイ、マンハッタン・トランスファー、オスカー・ピーターソン、キース・ジャレット、マイルス・デイビス、キング・クリムゾン、ジョー・ジャクソンなど多数のアーティストのプロジェクトに参加。アナログからデジタルに至るまで、常にもっとも効率的なワークフローをいち早く提案・実施している。DSD、ハイレゾリューション・オーディオの強力な推進者でもある。1995年サイデラ・マスタリング開設。1987年、コム デギャルソン 川久保玲から「洋服が奇麗に見えるような音楽を」という依頼により、ショーのためにオリジナル楽曲を作曲、制作。80年代のNYダウタウン・シーン最精鋭たちが結集した『COMME des GARÇONS SEIGEN ONO I』『同2』は、ファッション、広告、建築、デザイナーのあいだで話題となり、30年後の今、再び注目されている。ほか多数のアルバムを発表。最新作は『Memories of Primitive Man / Seigen Ono and Pearl Alexander』(2015年 Sony Music Japan Int'l)

参加費: 2,000 円 (async 展・後日入場チケット付)

チケットは当日発売のみ。

ワタリウム美術館受付でお求めください。

定 員: 30 人 (先着順)

※坂本龍一本人の出演はございません。

ワタリウム美術館

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-7-6

Tel: 03-3402-3001 Fax: 03-3405-7714

Email: official@watarium.co.jp http://www.watarium.co.jp



WATARI-UM
The Watarium Museum of Contemporary Art



撮影: オノセイゲン